

経営改善計画 改革項目一覧
 社会福祉法人前橋市社会福祉協議会

1 効果的な執行体制の確立		R3 進捗	目標指標	数値目標	
				R3目標	R3実績
1	人事・労務管理体制の整備	○	超過勤務時間の縮減	対前年度比1%減	6,080時間/年前年比4.1ポイント減 →目標達成 【参考】 一人当たりの超過勤務時間 R2: 68時間 R3: 37時間 →前年比45%減
2	法人運営の整備	○	社会福祉法人会員数の増 (2018年度 46法人/77法人)	60法人	52法人/77法人

2 自立性の高い財政運営の確保		R3 進捗	目標指標	数値目標	
				R3目標	R3実績
1	活動基盤の整備	△	善意銀行寄付金額	300万円以上	1,431,445円

3 事業の充実・利用者サービスの向上		R3 進捗	目標指標	数値目標	
				R3目標	R3実績
1	住民の不安を確実に受けとめ、支え合う地域をつくる	△	見守り活動の実施率 (平成30年度実績:16%46自治会)	30% (86自治会)	・見守り19% (53自治会) ・相談件数 10%増 (12,580件)、契約数 17%減(431件) ・共生型居場所0か所
			相談件数・契約数(生活支援係・相談センター・包括東部)(平成29年度実績:10,044件、599人)	対前年度2%増 10,660件 635人	
			共生型居場所(平成30年度実績:0箇所)	30箇所	
2	児童の育ちの支援	○	アンケートにおける利用者満足度(総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合。2018年度は42%)	80%以上	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合=38%
3	ボランティア活動と福祉教育の推進	○	福祉教育実施回数・時間	前年度水準微増	福祉教育 34校 113H 小地域研修 0回 災害運営訓練1回
			小地域活動の研修会開催数・参加人数	内容検討前年実績以上	
			災害ボランティア研修開催	研修会1回以上開催	
4	地域に根ざした利用者本位の在宅福祉サービスの実現	△	非常勤介護従事者の確保 ヘルパー ケアマネ・デイ・入浴	10人 退職者補充	退職者補充は 目標の3割。 ケアマネ、ヘルパー、デイ 1か所で目標稼働率を達成し、黒字化 全体研修0回 サービス別研修 ケアマネ3回、ヘルパー4回、デイ(3か所)各1回 OJT2回
			利用者の確保 ヘルパー ケアマネ デイ・入浴	月425人 稼働率90% 月延130人	
			事業所内研修の実施 全体研修 サービス別研修(ケアマネ・ヘルパー・デイ・入浴) 業務を通じた研修(OJT)	2回 各1回 6回	
5	高齢者の若返りの場づくり	○	ピンシャ元気体操及び健康増進事業(血圧測定及び機能訓練室利用者)前年度1%増 H29実績 ・ピンシャ元気体操利用者55,251人 ・健康相談利用者(血圧測定等)57,214人	前年度1%増 ・ピンシャ元気体操56,925人 ・健康相談58,948人	・ピンシャ元気体操他 36,846人 (R2比55%増) ・健康相談 28,606人 (R2比16%増)
6	地域で暮らせる自立支援	○	保護者向け研修会の実施	年1回以上	未実施(新型コロナウイルス感染予防のため)

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

1 効果的な執行体制の確立

改革項目	人事・労務管理体制の整備	NO	1	
計画内容	運営基盤の強化を図るため、適正な人員配置の整備を進めるとともに、事務の効率化を図る。			
計画年度		R1年度	R2年度	R3年度
実施項目	適正な人員配置の整備 (正規、嘱託、臨時)	検討	実施	実施
	事務効率化のための人事 給与システム、財務会計 システムの再構築	検討	実施	実施
進捗状況		○	△	○
R1 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正規職員採用計画を作成し、市と採用の協議を行った。次年度3名採用に至った。 ・ 事務効率化を進めるため、勤怠管理システム導入のための業者選定を行った。 			
R2 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正規職員採用計画を作成し、市と採用の協議を行った。次年度2名採用に至った。 ・ 事務効率化を進めるため、勤怠管理システム導入のための業者選定を行った。 			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正規職員採用計画を作成し、市と採用の協議を行った。次年度2名採用に至った。 ・ 事務効率化を進めるため、勤怠管理システムをR4年度運用開始へ向け、テスト運用を行った。 			
目標年度		R1年度	R2年度	R3年度
目標指標と数値目標	超過勤務時間の縮減	2018年度対 比1%減	対前年度比 1%減	対前年度比 1%減
指標実績		8,151時間/ 年 前年比11.2% 増	6,408時間/年 前年比21ポイント減 →目標達成 【参考】 一人当たりの超過時間 R1: 85時間 R2: 68時間 →前年比20%減	6,080時間/年 前年比4.1ポイント減 →目標達成 【参考】 一人当たりの超過時間 R2: 68時間 R3: 37時間 →前年比45%減

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

1 効果的な執行体制の確立

改革項目	法人運営の整備	NO	2	
計画内容	協議体としての構成員に則して会員制度を見直し、社会福祉協議会として求められる法人運営を図る。			
計画年度		R1年度	R2年度	R3年度
実施項目	会員制度の見直し	検討	実施	実施
	社会福祉法人連携体制の構築	検討	実施	実施
進捗状況		△	△	○
R1 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の種類など整理したところであるが、提案できるまでの検討には至らなかった。 ・市内の社会福祉法人にアンケートを実施し、情報交換や公益的取り組みを協働で取り組むための法人連絡会の設立に向けた準備会を開催した。 			
R2 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員制度の見直しは進めることができなかった。 ・前橋市社会福祉法人連絡会を、令和3年4月27日の総会にて設立することとなった。 			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会費収入は前年度より14,100円増。R4の募集時から地区からの要望（納入方法を増やす、分かりやすい募集案内の用意等）に応えられるよう、改善を図った。 ・前橋市社会福祉法人連絡会を設立し、具体的取組を推進するための部会活動をスタートさせた。 			
目標年度		R1年度	R2年度	R3年度
目標指標と数値目標	社会福祉法人会員数の増 (2018年度 46法人/77法人)	前年度を維持	50法人	60法人
指標実績		51法人/77法人	52法人/77法人	52法人/77法人

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

2 自立性の高い財政運営の確保

改革項目	活動基盤の整備	NO	1	
計画内容	安定した運営を継続させるため、必要な財源の確保と適正な予算執行に努める。			
計画年度		R1年度	R2年度	R3年度
実施項目	共同募金の有効活用	実施	実施	実施
	善意銀行（寄付金）の使途見直し、再構築	検討	検討	実施
進捗状況		○	△	△
R1 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金については、財源検討会議を通じて執行率を把握し、より募金の趣旨である「地域還元」できる事業に充当した。 ・善意銀行については、ホームページや社協だよりにて寄付の受入状況や使途を定期的に報告した。善意銀行預託金を財源として芳賀地区の「あいのり支援モデル事業」の実証実験を実施した。 			
R2 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金については、配分団体への審査基準の明確化、ボランティアセンターと連携した定期的なヒアリングを通じて、団体支援体制を強化した。 ・善意銀行については、新型コロナウイルス蔓延の影響により当会の自主事業（当事者支援）は中止を余儀なくされたが、現状の配分方法の見直しを行い、配分基準要領の作成へ着手した。 			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金については、団体支援強化のため相談窓口をボランティアセンターに移管し、新規申請団体の獲得に務めた。また、市内全域での町社協設立を目指し、町単位での住民主体の「交流、見守り、支え合い」活動への配分充当を増やすため、一部配分事業を善意銀行へ移管した。 ・善意銀行については、適正な管理事務を行うことを目的に、規程改正及び実施要領を作成し、預託金品の受け入れ及び配分手続きを明確にした。 			
目標年度		R1年度	R2年度	R3年度
目標指標と数値目標	善意銀行寄付金額	200万円以上	250万円以上	300万円以上
指標実績		2,022,172円	1,300,238円	1,431,445円

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	住民の不安を確実に受けとめ、支え合う地域をつくる	NO	1	
計画内容	<p>個人や世帯の抱える複合的課題に対応する包括的相談支援体制を構築する。</p> <p>また、生活支援体制整備において、地区社協・町を中心とした住民主体の見守り・支え合い活動づくりを推進する。</p>			
計画年度		R1年度	R2年度	R3年度
実施項目	包括的な相談支援体制の確立	検討	実施	実施
	生活支援体制整備の推進（見守り・支え合い）	検討	検討	実施
進捗状況		△	△	△
R1 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・包括的な相談支援体制の確立については、社協内のワーキンググループで検討中である。 ・見守り活動は目標未達である。R2年度より町社協設立モデル事業を通じて助成し、「支え合いの手引き」に基づく助言を行いながら支え合い活動の推進に向けた組織づくりや仕組みづくりを支援する。 			
R2 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談、生活支援体制の構築に向けて、相談支援の流れを整理し、「ニーズを漏らさない支援ネットワーク作り」を行うための検討会議を開始した。 ・見守り活動の実施率は横ばいである。支え合い活動を進める町社協設立モデル事業は、20町がモデル指定を受けて事業を開始し、年度末には実施状況中間報告書を作成した。モデル指定以外の町についても、サロンの基盤を活かした見守り事業の充実を図った。 			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談プロジェクト会議を1回開催したが、包括的な相談支援体制の確立及びニーズを漏らさない支援ネットワークの確立には至らなかった。 ・見守り活動の実施率は横ばいである。町社協設立モデル事業は、新たに15町がモデル指定を受け、昨年度と併せて35町が、住民を主体とした交流、見守り、支え合い活動を継続して実践するための組織化に向けた取り組みを行った。 			
目標年度		R1年度	R2年度	R3年度
目標指標と数値目標	見守り活動の実施率 (平成30年度実績:16%46自治会)	20% (57自治会)	25% (72自治会)	30% (86自治会)
	相談件数・契約数(生活支援係・相談センター・包括東部) (平成29年度実績:10,044件、599人)	対前年度2%増 10,245件 610人	対前年度2%増 10,450件 622人	対前年度2%増 10,660件 635人
	共生型居場所(平成30年度実績:0箇所)	10箇所	20箇所	30箇所
指標実績		<ul style="list-style-type: none"> ・見守り18% (50自治会) ・相談件数10%増 (11,068件)、契約数19%減 (491件) ・共生型居場所0か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り18% (51自治会) ・相談件数3%増 (11,411件)、契約数5%増 (519件) ・共生型居場所0か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り19% (53自治会) ・相談件数10%増 (12,580件)、契約数17%減 (431件) ・共生型居場所0か所

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	児童の育ちの支援	NO	2	
計画内容	本会が運営する4カ所の児童クラブでサービス向上を図る。サービスの満足度を把握するために年1回保護者に対しアンケートを実施する。			
計画年度	R1年度	R2年度	R3年度	
実施項目	長期休業中の昼食の充実	実施	実施	実施
進捗状況	△	○	○	
R1 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の昼食提供を週3回実施し、好評を得た。 ・保護者あてのアンケートを継続して実施し、意見、要望への対策を含め、保護者あてに回答した。総合・全体的な満足度は昨年度よりも6ポイント低下した。 			
R2 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策のため臨時休校により朝から開所する一日保育の対応を実施し、コロナ感染予防に徹し運営をした。 ・夏休みがコロナの影響で3週間に短縮され、お盆週を除く10回昼食提供を実施し、好評を得た。 ・保護者あてのアンケートを継続して実施し、意見、要望への対策を含め、保護者あてに回答した。総合・全体的な満足度は昨年度よりも2ポイント上昇した。 			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防に徹し運営をした。クラブ内での感染は、なし。 ・夏休みにお盆週を除く12回昼食提供を実施し、好評を得た。 ・保護者あてのアンケートを継続して実施し、意見、要望への対策を含め、保護者あてに回答した。総合・全体的な満足度は昨年度と同じ38%でした。 			
目標年度	R1年度	R2年度	R3年度	
目標指標と数値目標	アンケートにおける利用者満足度（総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合。2018年度は42%）	60%以上	70%以上	80%以上
指標実績	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合=36%	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合=38%	総合・全体的な満足度における「大変満足」の割合=38%	

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	ボランティア活動と福祉教育の推進	NO	3	
計画内容	地域共生社会実現に必要な人材育成を目的とした福祉教育を実施する。 災害ボランティアセンター運営研修を定期的実施し、災害に備える。			
計画年度		R1年度	R2年度	R3年度
実施項目	ボランティアセンター運営の見直し及び実施	検討	実施	実施
	福祉教育の見直し及び実施	検討	実施	実施
	災害ボランティアセンターの運営研修	実施	実施	実施
進捗状況		△	△	○
R1 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 運営見直しについては遅れ気味な状況 福祉教育は前年並みの実施実績（微増） 災害ボラセンは運営訓練の実施とマニュアルの見直しを実施 			
R2 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 運営はサービスラーニングに向けた福祉教育、共同募金を通じた団体支援及び災害準備に特化する方針を確認。 福祉教育はコロナ禍で実施回数が半減した。 小地域研修及び災害ボラセンの運営訓練は未実施である。 			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 運営は、ボランティアコーディネートと福祉教育に注力することを確認した。 サービスラーニング →福祉体験やボランティア活動を経験後学生主体企画を2回実施（12月23日、3月19日）した。 福祉教育 →小中学校28校102時間、大学2校4時間、福祉施設・関係機関等4件7時間実施した。 災害ボラセン設置訓練を1回実施した。 小地域研修は、講師紹介のみで未実施である。 			
目標年度		R1年度	R2年度	R3年度
目標指標と数値目標	福祉教育実施回数・時間	前年度水準維持	前年度水準微増	前年度水準微増
	小地域活動の研修会開催数・参加人数	10講座・研修200名	内容検討前年実績以上	内容検討前年実績以上
	災害ボランティア研修開催	研修会1回以上開催	研修会1回以上開催	研修会1回以上開催
指標実績		福祉教育 46校 275H 小地域研修 4回 64人 災害運営訓練1回	福祉教育 26校 87.5H 小地域研修 0回 災害運営訓練0回	福祉教育 34校 113H 小地域研修 0回 災害運営訓練1回

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	地域に根ざした利用者本位の在宅福祉サービスの実現	NO	4
計画内容	介護事業が継続できるよう安定した事業経営を行う。		
計画年度		R1年度	R2年度
R3年度			
実施項目	利用者増のためのサービス向上	実施	実施
	適正な人員体制の確立と職員の確保	実施	実施
進捗状況		△	△
R1 実施内容	安定した事業経営のためのサービス向上の研修を実施		
R2 実施内容	職員の資質の向上と、質の高いサービスの提供の実施		
R3 実施内容	安定した事業経営のための稼働率向上と人材確保の実施		
目標年度		R1年度	R2年度
R3年度			
目標指標と数値目標	非常勤介護従事者の確保 ヘルパー ケアマネ・デイ・入浴	10人 退職者補充	10人 退職者補充
	利用者の確保 ヘルパー ケアマネ・デイ 入浴	月425人 稼働率90% 月延130人	月425人 稼働率90% 月延130人
	事業所内研修の実施 全体研修 サービス別研修 (ケアマネ・ヘルパー ・デイ・入浴) 業務を通じた研修 (OJT)	2回 各1回 6回	2回 各1回 6回
指標実績		退職者補充は目標の3割、利用者確保は9割。事業所内研修は計画どおり実施	退職者補充は目標の5割。コロナ対策で新規利用を止めた時期があり目標の7割と未達成
			退職者補充は目標の3割。ケアマネ、ヘルパー、デイ1か所で目標稼働率を達成し、黒字化 全体研修0回 サービス別研修 ケアマネ3回、ヘルパー4回、デイ(3か所)各1回 OJT2回

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	高齢者の若返りの場づくり	NO	5	
計画内容	高齢者が主体的に健康増進や介護予防に取り組むのための場所として、気軽に取り組める体制を整え、介護予防の重要性を広く周知し、介護予防の拠点としての役割を果たす。			
計画年度		R1年度	R2年度	R3年度
実施項目	ピンシャン元気体操の普及啓発	実施	実施	実施
	健康・あんしん手帳の普及啓発	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R1 実施内容	老人福祉センターでは毎日、ふれあいの郷では週4日間ピンシャン元気体操等を実施し介護予防に努めた。また、健康あんしん手帳を配布し日々の血圧測定や健康状態の記録など、継続的な健康管理への意識づけに活用することができた。 ※R2年3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館した。			
R2 実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインを作成し、ガイドラインに沿って感染防止対策や人数制限を徹底しながら、老人センターでは毎日（一日2～4回）ふれあいの郷では週4回（一日1回）、コロナ対策用のピンシャン元気体操を実施しコロナ禍におけるフレイル（虚弱）予防に努めた。また、健康教室等で、健康管理の意識づけが出来るよう、健康あんしん手帳の普及に努めた。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/1～6/21、12/19～3/8の約6カ月間、臨時休館した。			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況や社会情勢と照らしながら、適宜、体操の内容や人数制限を緩和し、利用者の介護予防に努めた。 ・ピンシャン街道250（ニーゴーマル）プロジェクトを企画し、体操を250回達成する目標を掲げることで、利用者の健康意識や参加意欲の向上に繋がった。 ・健康・あんしん手帳は、健康教室や健康測定・相談会にて配布し普及に努めた。 ※新型コロナウイルス感染防止のため、5/6～6/20、8/4～10/7まで臨時休館した。			
目標年度		R1年度	R2年度	R3年度
目標指標と数値目標	ピンシャン元気体操及び健康増進事業（血圧測定及び機能訓練室利用者）前年度1%増 H29実績 ・ピンシャン体操利用者55,251人 ・健康相談利用者（血圧測定等）57,214人	前年度1%増 ・ピンシャン体操55,806人 ・健康相談57,786人	前年度1%増 ・ピンシャン体操56,362人 ・健康相談58,364人	前年度1%増 ・ピンシャン体操56,925人 ・健康相談58,948人
指標実績		・ピンシャン元気体操他85,928人（H30比11%減） ・健康相談63,327人（H30比2%増）	・ピンシャン元気体操他23,791人（R1比73%減） ・健康相談24,744人（R1比61%減）	・ピンシャン元気体操他36,846人（R2比55%増） ・健康相談28,606人（R2比16%増）

経営改善計画

前橋市社会福祉協議会

3 事業の充実・利用者サービスの向上

改革項目	地域で暮らせる自立支援	NO	6	
計画内容	施設統合を踏まえ地域活動支援センター（福祉作業所）及び心身障害者デイサービスセンターのあり方、運営方法の見直しを行う。			
計画年度		R1年度	R2年度	R3年度
実施項目	現状の施設運営の整理	実施	実施	実施
	統合新設する施設の構想、基本計画及び実施計画の策定	実施	実施	実施
	個別支援（家族支援）の充実	実施	実施	実施
進捗状況		○	○	○
R1 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新統合施設建設、運営に向けて、第一・第二・第三・心障デイ4施設の現状の運営状況・それぞれの抱えている課題を整理し、来年度市へ提出予定の新施設要望書の素案をまとめた。 ・個別支援を充実するためのアンケート等を、保護者・利用者からの要望を踏まえ整理した。 			
R2 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新統合施設について、市・設計事務所と具体的な設計について検討を重ねるとともに、各施設の課題を整理して前橋市へ要望書を提出した。 ・個別支援を充実させるためのアンケートや、保護者面談等を実施し、保護者・利用者からの要望を踏まえ整理した。 			
R3 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営方針と職員行動規範を作成し、職員に周知徹底した。 ・新統合施設について、市・設計事務所と具体的な設計について検討を重ね、実施設計に協力した。また、より具体的な課題について前橋市と協議を始めるとともに、保護者向けに現在の状況説明会を行った。 			
目標年度		R1年度	R2年度	R3年度
目標指標と数値目標	保護者向け研修会の実施	年1回以上	年1回以上	年1回以上
指標実績		未実施（新型コロナウイルス感染予防のため）	未実施（新型コロナウイルス感染予防のため）	未実施（新型コロナウイルス感染予防のため）